

OBTP021 プロジェクトローテーション

1.0 単位, 1 年次, 通年 随時

雨宮 怜, 松井 崇

授業概要

課題解決研究I・IIを推進するための基礎として、複数の実践的研究プロジェクトに参加し、各自が実践的研究を遂行するために必要な知識と技能を修得する。

備考

選択

対面

授業方法

実習・実験・実技

学位プログラム・コンピテンスとの関係

知の創成力, コミュニケーション能力, 専門知識

授業の到達目標(学修成果)

次世代健康スポーツ科学履修モデルの学生を対象に、課題解決研究 I・II を推進するための基礎として、複数の実践的研究プロジェクトに参加し、各自が実践的研究を遂行するために必要な知識と技能を修得する。

キーワード

実践的研究プロジェクトにおける研修, 学校 (青少年), 地域 (高齢者), 企業 (ビジネスパーソン), 競技団体 (アスリート)

授業計画

- 第1回 全体の研修計画 (受講生の希望に基づく研修機関の選定と交渉)
- 第2回 研修計画及び準備: 学校 (青少年)
- 第3回 研修: 学校 (青少年)
- 第4回 研修計画及び準備: 地域 (高齢者)
- 第5回 研修: 地域 (高齢者)
- 第6回 研修計画及び準備: 企業 (ビジネスマン)
- 第7回 研修: 企業 (ビジネスマン)
- 第8回 研修計画及び準備: 競技団体 (アスリート)
- 第9回 研修: 競技団体 (アスリート)
- 第10回 レポート作成

履修条件

原則として、次世代健康スポーツ科学履修モデル対象者

成績評価方法

オリエンテーション・研修計画・実際の研修への参画状況(50%)、ならびに研修の計画と内容に関するレポート(50%)により評価

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

1単位の取得には、授業時間（75分×授業回数）を含めて45時間の学修時間が必要であり、普段の研究活動の際に授業で得た知見を活用すること。

教材・参考文献・配付資料等

適宜、参考書・参考資料等 適宜資料（プリント、電子ファイル）を配付する。

オフィスアワー等(連絡先含む)

オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

0BTP022 課題解決研究I

0BTP023 課題解決研究II

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)